

# 平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

## I. 学校法人の概要

本学校法人大阪貿易学院は、教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神に則って学校教育を行い、有為な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために設置された本学校法人大阪貿易学院の平成 29 年度における概要は、以下のとおりであります。

### 1. 建学の精神と教育目標

設立当初は、外国語に堪能な国際人の育成として、継続的努力を要する語学の修得を主眼として設立された。

校訓「研精して倦まず」を「知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続ける」と解し、教育活動の実践的な柱としてきた。

現在の教育目標を、下記に示す。

- ① 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- ② 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21 世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- ③ 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- ④ 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- ⑤ 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

### 2. 沿革

大正 2 年	大阪商業会議所が国際人育成のため語学教育に重点をおいた専修学校を設立し、経済援助を行うことを決定。
大正 3 年	12 月 1 日 大阪貿易語学校を設立、会頭土居通夫が初代理事長に就任。
大正 11 年	大阪市都島区東野田 9 丁目に新校舎落成。
昭和 20 年	戦災により校舎焼失。
昭和 21 年	会頭 杉道助 が理事長に就任、復興に尽力。
昭和 23 年	学制改革により大阪貿易学院と改称。新制商業高等学校となり、現在地に新校舎完成。
昭和 39 年	普通科設置。
昭和 54 年	英語科設置。
昭和 59 年	全校舎冷暖房設備完備。
昭和 61 年	普通科 I・II 類と学科を改組。
平成 3 年	中学校開校。
平成 4 年	「大阪商工会議所主管」が外れる。
平成 6 年	高等学校普通科 6 年編入コース・I 類と学科を改組。
平成 7 年	開明中学校・高等学校と改称。
平成 13 年	中学校男女共学化。中学「理数コース」設置。
平成 16 年	高等学校男女共学化。
平成 18 年	中学既設の「理数コース」と併せ「スーパー理数コース」設置。
平成 19 年	共学 1 期生(第 9 2 期生)、高校卒業。
平成 24 年	共学 6 期生(第 9 8 期生、スーパー 1 期生)、高校卒業。
平成 26 年	学院創立 100 周年。新校舎完成。グラウンド人工芝化。
平成 27 年 3 月	体育館改修工事完了。
平成 28 年 3 月	清滝テニスコート改修工事完了。
平成 29 年 9 月	全教室電子黒板設置。

3. 主要な運営指標等の推移

5月1日時点

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
在籍者総数	1,573	1,543	1,625	1,684	1,701	1,677
高校	857	823	845	881	871	870
中学	716	720	780	803	830	807
高校専願 志願者	259	257	262	298	272	278
高校併願 志願者	87	89	141	139	94	57
中学志願者	1,435	1,565	2,041	2,002	1,715	1,308
教職員総数	147	138	139	147	150	151
本務教員	89	86	88	92	94	95
兼務教員	26	24	25	28	29	29
本務職員	9	10	9	9	8	8
兼務職員	10	8	7	8	9	9
その他職員	13	10	10	10	10	10

4. 所有地・建物等

①所有地（学校用地）

本校地	大阪市城東区野江1-9-9	面積	11,140㎡
清滝グラウンド	四條畷市清瀧1472-1	面積	26,368㎡

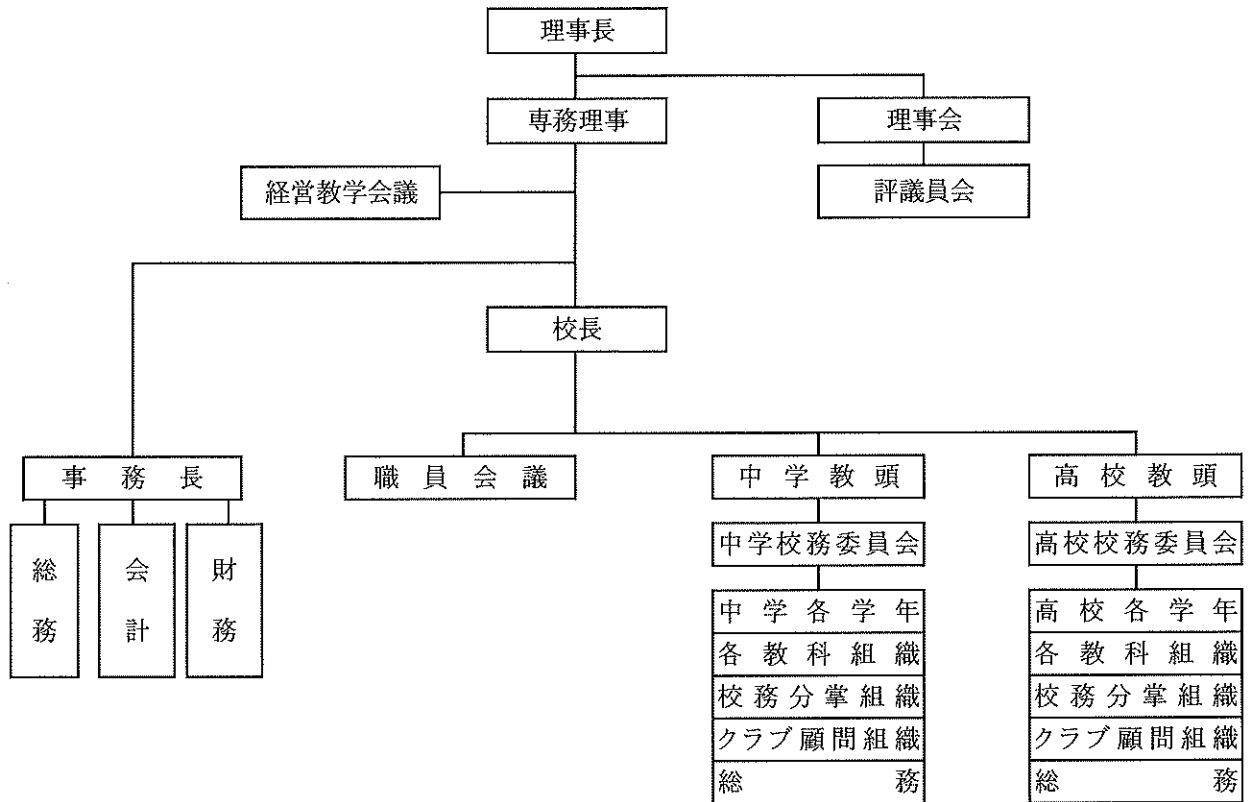
②建物

校舎	面積(㎡)
校舎	19,193.89
体育館	2,772.15
合計	21,966.04

③図書蔵書数 48,669冊

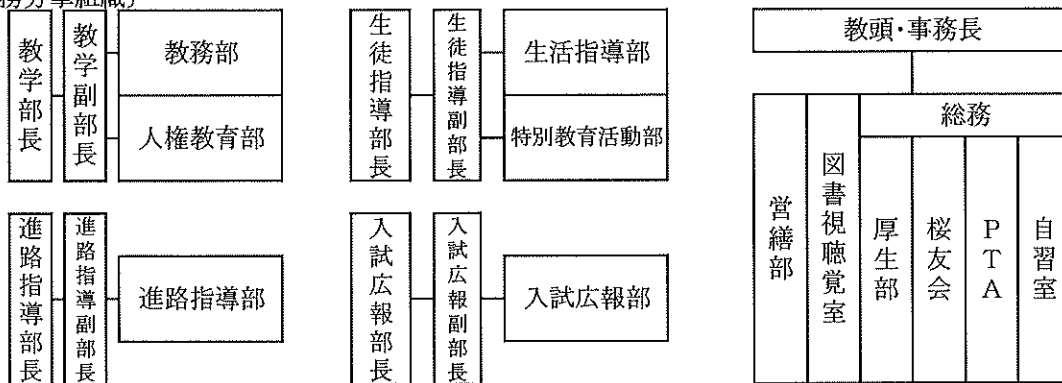
5. 組織・機構

平成29年度学校運営組織 [組織図概要]



[学年組織] 中1・中2・中3・高1・高2・高3の各学年主任・副主任

[校務分掌組織]



[経営教学会議] 学内理事・評議員

[校務委員会] 教頭・事務長・各学年主任・各学年副主任・教学部長・生徒指導部長・進路指導部長・入試広報部長で常時運営し随時他の各校務分掌主任が参加する。中学、高校でそれぞれ設置。

[クラブ顧問組織] 中学・高校 運動部・文化部

[その他の各種委員会] 人権教育推進委員会・入試企画委員会・カリキュラム委員会・職員安全衛生委員会・学校安全対策委員会・健康教育委員会(小委員会として生徒相談委員会・結核対策委員会・特別支援教育校内委員会を含む)

6. 在籍生徒数

平成 29 年度（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	中学 1 年生	中学 2 年生	中学 3 年生	合計
生徒数	278	280	265	823
男子	148	143	156	447
女子	130	137	109	376
クラス数	7	7	7	21

	高校 1 年生	高校 2 年生	高校 3 年生	合計
生徒数	270	313	280	863
男子	144	190	159	493
女子	126	123	121	370
クラス数	7	8	7	22

7. 教職員数

平成 29 年度（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	合計	男性	女性
本務教員	92	67	25
兼務教員	30	15	15
本務職員	8	5	3
兼務職員	10	6	4
その他職員	10	9	1
総教職員数	150	102	48

8. 法人役員の様況（平成 29 年 4 月 1 日現在）

理事 9 名、監事 2 名、顧問 1 名

	理事	監事	顧問
理事長	田中 太郎	西村 貞一	久我 一郎
専務理事	澤田 明	澤田 健	
学 校 長	早坂 元実		
	加藤 好文		
	立野 純三		
	森田 文明		
	白江 恵三（中学教頭）		
	林 佳孝（事務長）		
	森脇 靖（高校教頭）		

9. 桜友会（卒業生組織）について

i. 主な活動

年5回の役員会開催。年1回の会報を発行している。

6月24日（土）定時総会開催。出席者は、73名であった。

ii. 平成29年4月1日現在の役員は、下記の通りです。

会 長	西野 修 (51期)	名誉会長	清水 信次 (28期、717会長兼CEO)
副会長	清水 省吾 (52期)	相談役	田村 賢二郎 (35期、元会長)
副会長	吉田 友好 (55期)	相談役	平井 政博 (39期、元会長)
副会長	原田 哲夫 (58期)	相談役	殿浦 嘉郎 (42期、前会長)
事務局長	鹿島 靖彦 (45期)	顧問	永阪 巖 (元校長)
監 査	臼木 幸三 (62期)	顧問	池田 信雄 (元校長)
監 査	西川 貴夫 (63期)	顧問	森田 文明 (前校長)
		顧問	北野 幸男 (40期、元副会長)

II. 学校法人の経営概要

1. 財務状況について

① 収入について

a. 入学生徒数は、安定しており学費収入も安定している。

b. 大阪府からの経常費補助金は、高校で2%カットが解消されたことにより増加した。但し、中学校は依然として15%カットが継続されている。

② 支出について

a. 全教室に電子黒板機能付プロジェクターを設置した。

b. 就学支援金に関する学校負担金（奨学金）は、2,301万円余であった。

③ 会計処理について

生徒からの徴収金等は、全て学校会計基準に基づいて、適切に処理している。また、資産運用についても、運用規定に基づき運用している。

III. 教学の概要

1. 教育事業の概況

① 教学に関する事項

(1) 中学校

中学で「スーパー理数」を設置して12年目に入った。現在では、中高の在学生の約9割が6年コースの生徒である。「中学からの入学生をしっかり教育し伸ばすこと」が一層求められている。

新校舎での生活がスタートする中、中学では各学年、週4回の給食の提供を実施している。プールでの水泳実習や和室を使つてのクラブ活動など、教育活動の幅も広がった。生徒、保護者の意見も良く聞いて適切な形で更に改善、充実していきたい。平成29度、各学年で予定されていた宿泊行事なども無事実施された。英語検定では、中学校が、29年度の成績が優秀であったとして、文部科学大臣賞を受賞した。

(2) 高等学校

今春卒業した高校3年生、280名(スーパー7期で、103期生に当たる)の進路結果(浪人含む)は、京大7名、阪大9名、神大21名、国公立大医学部5名、現浪全体で189名が国公立大に合格し、卒業生比では67.5%であった。現役では134名が国公立大に合格し、卒業生比で47.9%であった。高校2年生(313名)も、勉強合宿を10月に行うなど、意欲的な実践を続けてきた。まとまりも良く、新たな可能性を作りつつある。高校1年生(270名)も、文理選択の指導などを通じて進路意識も高まってきた。内進は6クラスだが、編入1クラスで例年の規模となっている。

(3) 平成29年度高校卒業生の進路(平成30年度大学入試合格・進学状況)

i. 今春高校卒業生の進路に関わる主な指標は、次の通りである。

- |                |                                   |
|----------------|-----------------------------------|
| a. 卒業生数        | 280名(7クラス)                        |
| b. 大学進学希望者     | 280名(進路確保率 226名/a = 80.7%)        |
| c. 大学進学者数      | 188名(現役生進学率 c/a = 67.1%)          |
| d. 現浪国公立大学合格者数 | 189名(d/a = 67.5%)                 |
|                | ※京都大7、大阪大9、神戸大21、大阪市大12、大阪府大20など。 |
|                | ※現役生合格者数 134名(134/a = 47.9%)      |
| e. 現浪国公立等医歯薬系  | 9名(医5、歯2、薬2)                      |
| f. 現浪私立大学合格者数  | 526名(うち関関同立255名、延べ数)              |
| g. 現浪私立医歯薬系    | 46名(医14、歯3、薬29)                   |

ii. 詳細は、別紙資料による。

(4) 授業改革

基礎学力を定着させ、生徒の学習意欲を高めるためにも、目先の勉強で生徒を追い立てるのではなく、よく考えて勉強するいい学習習慣を身に付けさせたい。この指導を「授業改革」というスローガンの下進めてきた。生徒が授業の予習・復習に時間を掛ける、授業の準備をしっかりと授業を受ける、学習の基本であるが、そこを大事に学習の改善ができるようにしていこうというものである。現在、必要な小テストや確認テストなどは授業の中で行うようにしている。

(5) 教員研修及び講演会

学校教育活動のグレードアップをはかるための教職員研修を実施している。全教職員対象の研修、部長・学年主任・副主任の合同研修、新人研修など。また、教科指導力の向上を目指し、学内及び学外での教科研修を推奨している。生徒を対象とした各種講演会を実施した。平成26年度は100周年記念講演会として、宇宙飛行士の山崎直子さんをお迎えした。27年度は京都大学の杉本淑彦先生に「現代日本文化としての源氏物語」、28年度は宇宙物理学者の池内了先生に「科学とのつきあい方」と題しての講演をして頂いた。29年度は、アフガニスタンの復興に尽力されている医師の中村哲先生にご講演頂いた。生徒たちは、視野の広がりを持って社会のことを考えられたのではないかと思います。

(6) 生徒指導

「学習指導と生活指導は車の両輪」が本校の生活指導の基本である。学習を支える基本的な生活習慣、生活規律の確立に向けた指導を強めると共に、豊かな倫理観を養う教育に努めた。

平成 25 年 6 月に制定された「いじめ防止対策推進法」を受け、本校でも「学校いじめ防止基本方針」を策定し、ホームページに公表している。生徒、保護者、教職員が心をひとつにして、深刻ないじめで悩み苦しむ生徒がいないように努めてきた。29 年度も、生徒、保護者に学校のいじめ・体罰などの相談窓口を文書で明示している。

(7) 学校評価

平成 29 年度も、全生徒・保護者を対象に学校評価アンケートを行った。授業担当者の個別評価も導入している。それらを踏まえて教職員の自己評価アンケートも実施している。29 年度の生徒、保護者のアンケート回収率は 67.2 % (中学で 76.8%、高校で 57.6%) であった。

② 平成 29 年度 P T A の主な事業について (別紙「P T A 事業報告」参照)

5 月 6 日 (土) 総会、P T A コンサート

7 月 8 日 (土) 進路対策講演会

9 月 10 日 (日) 文化祭

10 月 7 日 (土) 健康推進講習会

10 月 28 日 (土) 文化教養講演会

10 月 29 日 (日) 私学保護連スポーツ大会

11 月 2 日 (木) 社会見学会

1 月 30 日 (火) 大阪私学振興大会

上記以外に、全委員会、各委員会などを開催。また、P T A クラブ活動としてバレー部、ウィンディン(文化クラブ)・ポレポレ(ボランティアクラブ)・えくら(コーラスクラブ)が、月 1~2 回活動。P T A 新聞は年 2 回発行